

# 子どもセンターニュース

NO.62 2016.9.4 発行

発行元：NPO 法人子どもセンターあさひ

ついに帰ってきた！

長谷川義史  
「絵本ライブ」

9/10(土)

(詳細 P.3)



キャンプにて

## TOPICS

- P.2 キャンプ～成長のためには～
- P.3 舞台鑑賞ラインナップ  
第2回「みんなのおまつり」  
夏休み寺子屋スペシャル
- P.4 わくわく子どもキッチン
- P.4・5 セミナー／学習会  
～子どもとの関わり方を見つめ直す～
- P.6 行事カレンダー

秋のあとのしみ

わくわく子どもキッチン

稲刈り



9/4  
(日)

食欲の秋



10/23  
(日)

自然をあそぼう！

<次回舞台鑑賞>



9/10  
(土)

絵本作家

長谷川義史「絵本ライブ」

会場：大阪市立旭区民センター

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

子どもセンターあさひ

〒535-0031 大阪市旭区高殿 6-17-10-201 TEL06-6951-0055 FAX06-6951-0056

子どもセンターあさひ けんさく

facebook : [www.facebook.com/kodomo.center](http://www.facebook.com/kodomo.center) e-mail : [asahi@kodomo-center.org](mailto:asahi@kodomo-center.org)



2016年 9/10 (土) 開演 14:30

舞台鑑賞 今後のラインナップ

絵本の読み聞かせ

ライブ紙芝居

絵本作家 長谷川義史

絵本ライブ

わらってないで 心にしみる90分!

会場：大阪市立旭区民センター 大ホール

先日子ども達と長谷川さんの画廊で開かれている「へいわがすき」カレンダー展に行ってきました。以前インタビュー記事にて「ギャグのように笑えるものから“家族”“平和”といったメッセージ性の強いものまで幅広いと言われるが、ダジャレ絵本もまじめなテーマの絵本も、ハハハって笑えるのは平和の証して根源は同じ」と語られていました。心の底からハハハと笑える世の中でありませうように!

長谷川義史カレンダー「へいわがすき」原画展 空色画廊(絵本ギャラリー) (大阪市北区菅原町1-5) ~9月24日 (12~19時、木金土のみ)

一人ひとりが成長する仲間作り

も印象深かったようです。川遊びや自炊も満喫し、高学年たちは毎年の経験を活かし、テント立てや火起こしも上手になつていました。来年はさらに小学生リーダーが活躍できるキャンプにしたいです。

「青いトンボ見つけた」とキャンプから元気な子ども達が帰ってきました。優しいユー・スのお姉さんたちのお蔭で、初参加の幼児さんもすっかり仲良しになり、また行事で会えるのを楽しみにしています。小学生の感想では皆一様に「トランプが楽しかった」と。夜小学生だけのテントでの盛り上がりを感じました。

安心して集まれる場

地域の子ども達にも子どもセンターを開放しての「夏休み寺子屋スペシャル」は今年で三年目。中には毎年参加の地域の子が小学生最後の年になり、仲良くなった子ども達は名残惜しい気持ちになつていました。会員の子ども達を中心に、誰もが安心して集えるセンターにしたいと改めて感じました。

2016年 12/18 (日) 目の前でとびだすマジックショー

TVなどのキャストとして表舞台・裏舞台に携わる。一般向けのマジック教室からテーブルマジック・ステージマジック・イリュージョンマジックとオールマイティな若手マジシャン。

「マジックショー」 KAITO (HIROTO PROJECT TEAM) 会場：子どもセンター

2017年 3/11 (土) 幼児から楽しめる歌舞伎の解説付

創作歌舞伎「牛若丸」(前進座) 会場：国立文楽劇場

花道を使った本格歌舞伎

地域と連携して

9月10日はいよいよ絵本作家長谷川義史さんによる「絵本ライブ」です。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで愛されるあつたかい絵本の世界観を共有したいと思えます。ぜひご家族お友達とご参加下さい。

11月には昨年好評だった「みんなのおまつり」を開催します。旭区民センターを全面的にお借りし、内容もパワーアップし、より地域の方々に楽しんでいただけるものを計画中です。ご協力お願いいたします。

好評につき 今年も開催! 第2回 みんなのおまつり 11月20日(日) 11:00~15:00 会場：大阪市立旭区民センター

小ホールにてひとり芝居「鮭の子さすけ」上演(2ステージ) 開演①11:30 ②14:30

あそびコーナー・たべものコーナー・バザーコーナー・ワークショップ・ハンドメイドショップ・・・

地域のお店も多数出店!

キャンプ 8/20・21 (土日) 場所：三田市野外活動センター

火起こしの火の成長がたのしかった!

バーベキューおいしかった!

子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構) 助成活動

夏休み寺子屋スペシャル 夏休みの水・金曜日(全8回)

午前中は宿題 午後はミニ企画やボードゲームなどを楽しみました

○工作(ポップアップカード・平面ルービックキューブ・オリジナル封筒・貯金箱・シャボン玉マシーン)  
○科学実験(浮沈子)  
○クッキング(おにぎらず・オリジナルパフェ)

「浮沈子」の科学実験 「ペットボトルを押すと、魚(しょうゆ容器)の中の空気が減るかわりに、水が増えて魚が沈む。それが『アルキメデスの原理』だ!」と教わった原理を小学2年生が説明してくれました。

「おにぎらず」の具材の卵焼き

給食の食材・おやつのカンパありがとうございました

貯金箱づくり

レゴの作品はちびっこ達に大人気!

平面ルービックキューブ

一人ひとりの成長のために

猛暑の中、一泊二日キャンプに行ってきました。暑さを和らげるための川遊びは水鉄砲で水をかけあう等大盛り上がりでした。テントたてやカレーの具材決め、朝食のピザの準備、カレー作り等、班行動をメインにキャンプを進め、協力しながら行動する難しさをそれぞれが感じられたと思います。時には譲り合い、我慢したり、みんな一緒に楽しんだり、2日間での活動では見られない姿を見せてもらいました。一人ひとりが成長するためには、協力して自分の良さや他人の良さを気づくことが大切だと改めて気付きました。今後も協力しながら進め、個性をいかす活動を取り入れることに心がけたいです。(ぴーかな)

来年も行きたい!

普段幼稚園で友達と遊ぶ様子を見れないので、今回自然の中で走り回ったり元気に遊ぶ姿が見れてよかったです。だいぶ慣れてきて親から離れられるようになってきました。キャンプは家族で行くこともないので、初めての経験となりました。息子も楽しかったようで、来年も行きたい、と言っています。(えんちゃん 5才児のママ)

小学生みんなで行ったトランプが楽しかった!

川あそび楽しかった! 小学生の感想

次回自然体験 稲刈り体験 10/23(日)

デートDV防止プログラムを活用しての子育て学習会では、DVが起こる要因を知り、日々子どもとの向き合い方を見直しました。

<DV・デートDVの3つの要因>

力と支配

子どもを「力で支配する」親は、児童虐待の親ではありません。親が子どもを脅し、アメとムチで思い通りに動かそうとしがち。しつけのつもりで「成績が良かったら〇〇買ってあげる」(アメ)「親の言うことを聞かないなら出ていけ」(ムチ)を使いがちではないでしょうか。

暴力容認

暴力はよくないと思っても、条件付きで認める人は多いようです。教育やしつけ・正義のためなら仕方ない、男性の場合は少々暴力的でも仕方ない、愛情があれば時には暴力も必要、などの考え方は根強い。

ジェンダー・バイアス

ジェンダーとは社会的・文化的に作られた性差・性別。バイアスは偏った見方。他の言葉で言うと「女らしさ・男らしさ」の「決めつけ・押しつけ」です。男性は強い・攻撃的でもよい・弱音は吐かない... etc. 女性は、おとなしい・守られる・家事や育児は女性の仕事... etc. などの偏った〇〇らしさ。

幼少期の育ちの中で、社会から受けているこれらの要因は日常生活にあふれていて、誰もが知らないうちに意識の中に刷り込まれています。学習会の中でも「しつけのために手をあげるのはOKか?」で話が白熱。言っても聞かないときは仕方がない、愛情があれば...、身をもって教えなければ伝わらないこともある、など暴力と言えないまでも肯定的な意見が多く出ました。威圧したり暴力的な言動で子どもに言うことを聞かすのではなく、親として大人としてどのように子どもに接することができるのか、日々葛藤ですが、「暴力は絶対にダメ」と子どもに伝えると同時に自らの言動をも顧みましよう。

<社会にあふれる「力と支配」>



暴力(武力)によって支配しようとする最たるものは「戦争」

～参加者の感想～

私の小さいころは、親や学校の先生から怒られた際はお尻を叩かれたり、その時の私の感情はどうだったか古い記憶をたどりましたが、いやな思い出ではなかったです。(親になって立場が変わったから都合よく思うようになったからかもしれませんが、、、)親としての威厳やプライドを保つため、子供に暴力をふるうのは論外ですし、躰としての暴力を肯定するつもりは甚だないですが、悪い事や危ない事は身をもって覚えさせなくては、2・3度繰り返すこともあり...言い訳のようですが悩ましいところ。その後ネットや本等を見て私なりに納得した内容がありましたのでご紹介します。「母性(無条件の保護やさしさ)が強すぎると甘えん坊で自立できない人間が育つ、父性(条件付きの愛情、厳しさ)が強すぎると幼児性と攻撃性がでてくる。」それを見て思った(言い訳)は、「ほんとは子供がのびのびと育てられれば、躰などせずに我儘に育てても親としては楽だけど、社会の中で(他人とも共存して)生きていかななくてはいけないので、社会性を身につけていかなければいけない。」と書いてみましたが、それも私が40年近く生きてきたうでの経験/反省なので、それをまだ数年しかたっていない子供に当てはめるのもおかしい事ですね。私が納得したのは、「母性によって自分はいかにいいんだという自尊心がしっかり育っていないのに躰や厳し教育的な事をいっても伝わらない」「まずは子供を無条件に受け入れ希望を満たしてあげる、厳しさやルールを教えるのはそのあとです。」まだ自尊心が育ちきっていないと思うので当面母性で受けとめたいと思いますが、今時点です了我的結論は「怒らずにたしなめる/諭す」、...、実行するのは難しい課題のようです。(みっきー 4才児のママ)



毎月第2土曜日  
第2・3木曜日  
10:30~12:00

リラミックのボランティアに参加して

今日は、8ヶ月の男の子とリラミックをしました。今回は3・4才の子ども達だったので、走ったりいろいろ動きましたが今回は落ち着いた雰囲気の中で行いました。まだ、歩けない子どもは抱っこして、お母さんの振動でリズムを感じるというところに新しい発見がありました。リズムだけでなく保護者とのふれあいも大切だとわかったのと、今回来ていたお母さんの質問で「幼児期に聴くのによい音楽」と聞いていて、最終的な答えが保護者の声ということで、本当に保護者の表現力が大事だという事がわかりました。今日はフーフーフーを使ってリズムをとったり、ピアノの音楽でリズムをとったりして、様々なものが主体となって出来ると学びました。前回のリラミックでした手遊びを学校で活かさせていただいたので今回もたくさんのご意見を吸収して9月に実習へ行くときに活かせたらなと思いました。(のん 大阪キリスト教短期大学1年生)

地域交流 あそびのコーナーにて参加

子育てわいわい広場 inASAHI

(大阪市立旭区民センター)



わがまんまチャリティーバザール (SAOR | 会館 [都島区中野町])



地域の保育園さんより「綿菓子機」を譲っていただきました。おまつりで活用させていただきます。ありがとうございます。



旭区民まつり (旭グラウンド)

パイ生地グラタン

8/7(日)



心を許してくれる子ども達

初めてボランティアというのに参加して、おもっていたよりも体力的に大変でした。でも、達成感には本当に感じられて、小さな子ども達が段々自分に心を許してくれていくのも感じました。また、ボランティアスタッフ達との毎回の反省会では自分の意見をみんなに伝えて、どうしたらより良かったのかの改善点の話や感想を話合う時間は、自分自身にとってもためになる時間だと思います。これからもっと自分の意見をちゃんと伝えたり、それを実践できるようになりたいと思います。(れんれん 近畿大学農学部 2年生)



体験参加 受付中

わくわく子どもキッチン

流しそうめん

7/10(日)

存在感と判断力!

初めての先生役でした。キッチンスタートの時、みんななかなかエンジンがかからないので、手遊びをしました。「はじまるよ♪はじまるよ♪」の歌で、みんながぱっとこちらに注目してくれて、良いスタートが切れました。子どもたちの興味をひくと、こんなにも集中してくれるのか、と手応えがあり嬉しかったです。まずはそうめんの具材づくり。クッキー型を使って、ハムを星型に、にんじんをくまさんにくり抜いたり、みんな一生懸命でした。自分で卵を割り、薄焼き卵にも挑戦☆その後、いざ流しそうめんスタート!おはしで素早くキャッチ!取ることに必死で、お椀からそうめんが溢れそうな子どもより良かったのかの改善点の話や感想を話合う時間は、自分自身にとってもためになる時間だと思います。これからもっと自分の意見をちゃんと伝えたり、それを実践できるようになりたいと思います。(れんれん 近畿大学農学部 2年生)



いつかふと芽を出す

先生のセミナーを受けるのは三回目です。いつも自分が楽しくなって、子どもたちと一緒にやってみようと思いながら、実践しています。今回私が気に入ったのは洗濯ごっこ。これは水遊びの中で、子どもたちと楽しんでいます。水の中で布をゆらゆら揺らしながらそれにリズムをつけていきます。そして心に残っていることは、その都度理解できていることが当たり前ではなく、遊びの中で静かに頭や体のどこかに残っているものが、いつかふと芽を出すことを待つことが大切であること。わかった?こないだ言うたやろ?ではなく、子どもたちが成長するなかで、リトミックが身になっていることに気づかされることもあるんだそうです。毎日の積み重ねが、経験となって表れるように、子どもたちへの関わりを考えていこうと改めて、考えさせられたお話でした(保育士)

指導者向け リトミック セミナー 7/30(土)

先生自らが楽しんで!

今回は、少人数ながら、主任クラスの先生方の参加があり、具体的なカリキュラム作りを考えながら、経験を出し合い、より深い話ができました。幼稚園、保育園など集団の中のリトミックで、何を子どもたちの内に育てたいのかを考えると、まずは自己肯定感。そして、想像力、創造力、表現力、コミュニケーション力。即時反応や表現活動を通して、子どもたち一人ひとりのところからだの変化に向き合い、伸ばしてやる必要がある。そのためには、何よりも先生自らが楽しんでできることと、常に豊かに人間性をみがく努力が大切であるということを確認しました。(講師 和田みや子)

